



REIC ニュース

No.10
2018 Jul

特定非営利活動法人
リアルタイム地震・防災情報利用協議会



この度の、平成30年7月豪雨および大阪府北部地震により被災されました多くの方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

本号では、REIC正会員の株式会社イー・アール・エス様より、『ハザード・リスク実験コンソーシアム』の一環として、6月に開催された自治体フェアへの出展についてご紹介いたします。

コンテンツ

- ◆ REIC活動報告：第16期 定時総会・第21回 REIC防災セミナー
- ◆ REIC活動報告：ハザード・リスク実験コンソーシアム中間報告 REIC常務理事 上村良澄
- ◆ 事務局より
- ◆ 特集：株式会社イー・アール・エス（ERS）が自治体総合フェア2018に出展
株式会社イー・アール・エス 代表取締役社長 古澤靖彦
- ◆ 地震データ：2018年4月～6月



REIC活動報告：第16期 定時総会・第21回 REIC防災セミナー

第16期 定時総会を、6月14日（木）ヒューリックホール&カンファレンスにて開催しました。本総会においては、全ての議案が承認され、無事閉会いたしました。また、同日同会場にて、第21回 REIC防災セミナーを開催しました。

今回は、文部科学省地震調査研究推進本部 地震調査委員会委員長として活躍されている、東京大学地震研究所 地震予知研究センター長・教授、(国研)防災科学技術研究所 首都圏レジリエンス研究センター長 平田 直 氏をお招きし、「南海トラフ巨大地震への新しい対応」と題して講演が行われました。



講師 平田 直 教授

超巨大地震となる南海トラフ地震において、国はこれまでは、地震予知に基づく「地震防災応急対策」の方針を提唱していましたが、2017年に“大震法に基づく現行の地震防災応急対策を改める必要がある”とし、新たな対応が検討されました。南海トラフ周辺で大地震が発生する可能性が高まったと判断した場合、気象庁が「臨時情報」という新たな情報を出します。この臨時情報が発表されると、①「関係省庁災害警戒会議」を開催する準備を進め、②関係省庁による今後の取り組みを確認し、さらに国民に対して今後の備えについて呼びかけます。従来は、東海地震が予知された場合に「警戒宣言」をもって避難指示や交通規制など厳しい規制を出すことになっていましたが、今後、臨時情報が発表された際の対応は、各自治体や各機関等に任せられることになりました。具体的な防災対応を検討していくためには、地域における具体的な検討の推進、防災対応強化に向けた計画的な取り組みの推進が必要であることが紹介されました。

国民は自分の住む地域の「自然」・「社会」および「災害」を理解し、行動に備える自覚が必要である、つまり大規模地震発生時の個人個人のBCMを備えることが必要であるということが指摘されました。

本セミナーの開催報告については、REICホームページにも掲載しておりますので、講演内容の詳細等は、そちらをご参照ください。(REICホームページ: <http://www.real-time.jp/>)

REIC活動報告：ハザード・リスク実験コンソーシアム中間報告

平成29年10月「ハザード・リスク実験コンソーシアム」は、内閣府が主導するSIP(戦略的イノベーションプログラム)の研究成果として、国立研究開発法人防災科学技術研究所が提供する『リアルタイム地震被害推定情報』の、社会実装への期待を背負い開始、既に10か月が経過しました。提供する情報は表1のとおりです。地震発生後10分から15分程度で全国250mメッシュおよび行政区別の推定情報(数値情報含む)を平成31年3月まで無償で提供します。

表1：提供情報一覧

提供される情報	主な情報内容
強震動分布	推定最大震度、最大速度、最大加速度、SI値、速度応答スペクトル
建物被害情報	全壊、全半壊、被害なし
震度曝露人口	5弱以上、5強以上、6弱以上、6強以上、昼間人口、夜間人口 等
人的被害情報	死者数、重傷者数、軽症者数 等

実験では、6月末現在、26の参加機関と、24機関1団体1自治体の協力機関が、被害推定情報における具体的な事業展開への検討が進められています(図-1)。この情報は、事業継続(BCP)や自社製品への付加価値向上など業界によって利用目的は様々ですが、経済活動でのリスク管理において利活用が期待されています。

参加機関の情報利活用状況は、6月18日(月)7時58分、関西地域で発生した大阪府北部地震(最大震度6弱)のリアルタイム地震被害推定情報で評価された推定震度分布(図-2)を初め、関東地域でも群馬県南部の地震(6月17日(日)発生、最大震度5弱)および千葉県房総地域における断続的な震度3レベルの地震など、リアルタイム地震被害推定情報提供サーバーは6月に入り、実験期間中として最も多くのアクセス数を記録し、産業界における関心の高さを示しています(図-3)。

今後、実験コンソーシアムは情報の認知度を向上させ、実験参加への希望を募るとともに、来年4月以降の実運用に向けて環境を整え、社会実装への多くの課題解決に向けて産・官・学連携の新たなステージの構築に向けて挑戦し続けます。

※「ハザード・リスク実験コンソーシアム」については、REICホームページの専用ページから、各種資料や参加申込書がダウンロードできます。是非ご参照ください。
こちら <http://www.real-time.jp/>

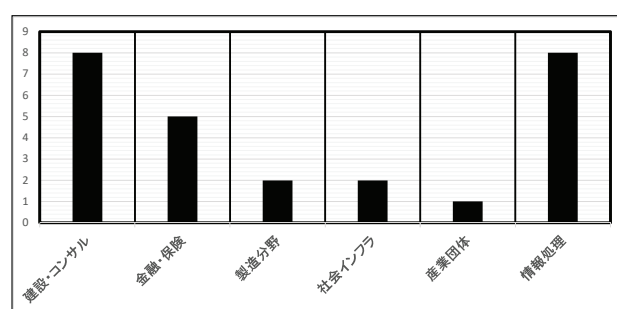


図-1: 産業分野別実験参加機関

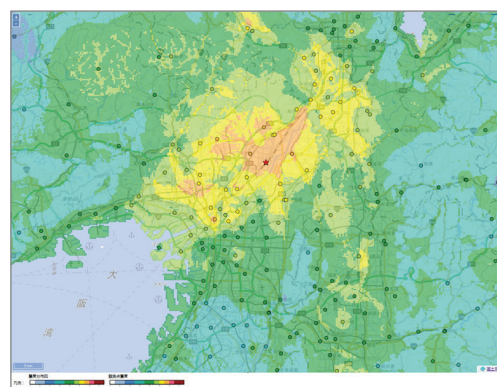


図-2: 大阪府北部地震推定震度分布

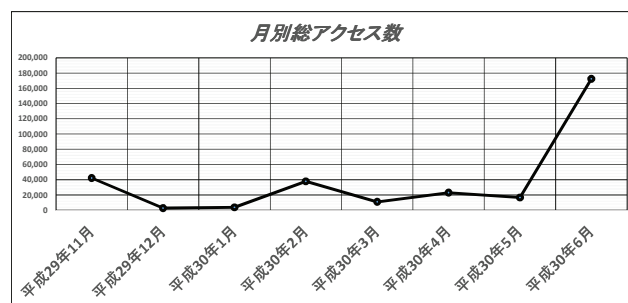


図-3: 提供サーバーアクセス推移

事務局より

● 今後の予定

- 10月13日(土)～14日(日)「ぼうさいこくたい 2018(防災推進国民大会)」出展会場: 東京ビッグサイト、そなエリア(東京臨海広域防災公園)
主催: 防災推進国民大会2018実行委員会(内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議)

詳細は 随時ホームページ、Facebookにてご案内します。

株式会社イー・アール・エス(ERS)が自治体総合フェア2018に出展

株式会社イー・アール・エス 代表取締役社長 古澤靖彦

ERSは、応用地質(株)と鹿島建設(株)の対等出資で1998年に設立された、不動産に係る広範なリスクマネジメントサービスを提供するコンサルティングファームです。弊社は、本年5月16日から3日間に渡り東京ビッグサイトで開催された「自治体総合フェア2018」に、REICが主催するハザード・リスク実験コンソーシアムに関する内容を鹿島グループ企業の一員として展示・紹介いたしましたので内容をご報告いたします。

フェアは、(一社)日本経営協会が主催し、内閣府・総務省をはじめとする国家機関や全国知事会などの多くの自治体関連機構が後援し、上述のコンソーシアムに重要な研究成果を提供頂いている(国研)防災科学技術研究所も後援機関に名を連ねています。今回で第22回目を数える歴史と実績ある本フェアの一貫した目的には「自治体経営の革新推進」が掲げられ、本格的な人口減少時代を迎えた近年は、民間活力の導入による合理化・効率化を目的とした取り組みが数多く展示・紹介されています。

今回鹿島グループは、親会社を含む主に建築系の12社が共同出展し、弊社は公共施設包括管理支援の1アイテムとして「大地震後の建物・施設被害情報配信」と題して、REICコンソーシアムでの取り組みを紹介しました。これは、REICから発信されるメッシュ単位の地震動情報を敷地レベルにピンポイント化し、あらかじめ自治体からお預かりした建物情報と弊社独自の建物モデルを用いて、個別の建物の被害状況や点検要否の推定結果を配信しようとするものです。自治体は、保有施設が地震による大きな揺れを受けた場合、市民の安全や避難先確保のために、所有する施設の安全性を迅速に確認する必要があります。本取り組みは、大地震後の複数施設の被害状況を一元的に予測・集約するものです。限られた数の職員で、短期間に数多くの、しかも各地に点在する施設に対応する必要がある自治体の判断や初動を、強力に支援するしくみであると期待しています。

フェア全体には、3日間で10,000人余の来場者があり、鹿島グループのブースにも数多くの自治体関係者が来訪されました。フェアには防災科学技術研究所や科学技術振興機構も出展されており、来場者の皆様は、防災・減災・BCPにおける情報の重要さをあらためて感じて頂けたものと思います。

弊社は、配信を本格化する今夏以降、本フェアにご来場いただきましたお客様も含め、実験協力機関としてのREICコンソーシアムへの参加をより積極的にご案内・お勧めして参ります。

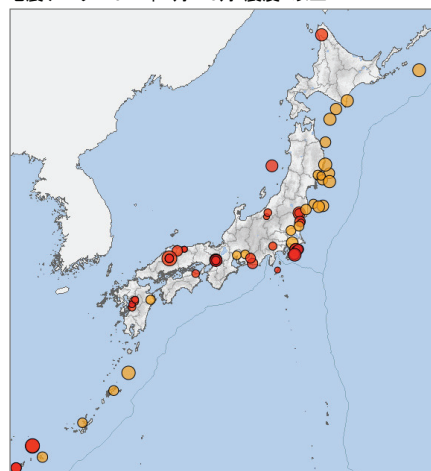


地震データ：2018年4月～6月

地震データ：2018年4月～6月 震度4以上

発生日	発生時間	震央地名	緯度	経度	深さ	M	最大震度
6月26日	19:46	千葉県南部	35° 20.9' N	140° 20.7' E	26km	M4.3	4
6月26日	17:00	広島県北部	34° 55.8' N	132° 52.3' E	12km	M5.0	4
6月19日	0:31	大阪府北部	34° 51.5' N	135° 36.4' E	10km	M4.1	4
6月18日	7:58	大阪府北部	34° 50.6' N	135° 37.3' E	13km	M6.1	6弱
6月17日	15:27	群馬県南部	36° 27.3' N	139° 10.3' E	14km	M4.6	5弱
6月16日	11:09	千葉県北東部	35° 21.0' N	140° 19.4' E	26km	M4.4	4
6月12日	4:54	大隅半島東方沖	31° 11.3' N	131° 33.5' E	28km	M5.6	4
5月25日	21:13	長野県北部	36° 56.4' N	138° 35.3' E	6km	M5.2	5強
5月18日	3:42	釧路沖	42° 43.5' N	145° 28.2' E	47km	M5.8	4
5月17日	12:12	千葉県北東部	35° 42.9' N	140° 43.8' E	52km	M5.3	4
5月13日	1:49	宮城県沖	38° 31.8' N	141° 48.9' E	50km	M4.8	4
5月12日	10:29	長野県北部	36° 37.9' N	137° 54.0' E	11km	M5.2	5弱
5月7日	5:00	岩手県内陸北部	39° 35.7' N	141° 09.6' E	98km	M5.1	4
5月6日	21:13	熊本県熊本地方	32° 39.4' N	130° 40.1' E	11km	M3.9	4
4月24日	17:53	根室半島南東沖	43° 14.3' N	145° 49.5' E	87km	M5.4	4
4月14日	15:13	愛知県西部	34° 49.4' N	137° 07.6' E	6km	M4.5	4
4月14日	4:00	根室半島南東沖	43° 10.5' N	145° 44.2' E	53km	M5.4	5弱
4月9日	5:05	島根県西部	35° 10.4' N	132° 35.2' E	9km	M4.6	4
4月9日	2:10	島根県西部	35° 10.3' N	132° 35.0' E	10km	M4.9	4
4月9日	1:56	島根県西部	35° 11.0' N	132° 34.5' E	10km	M4.8	4
4月9日	1:43	島根県西部	35° 10.0' N	132° 35.4' E	10km	M4.5	4
4月9日	1:32	島根県西部	35° 11.0' N	132° 35.2' E	12km	M6.1	5強

地震データ：2017年4月～6月 震度1以上



気象庁「震度データベース」による、2018年4月～6月末までの地震データを掲載します。

上記リストは、震度4以上の地震を発生日順で列記しています。

左記地図は、震度1以上の地震の発生場所を記しています。

なお、この間に発令された緊急地震速報は、警報：5回（島根県西部、根室半島南東沖、長野県北部、群馬県南部、大阪府北部）、予報：202回となります。

対象期間中は、震度5弱を超える地震が6回発生し、特に6月18日に発生した大阪府北部地震では、大阪府北部・兵庫県南東部・奈良県で長周期地震動階級2を観測しました。

編集後記

REICニュースの発送にあたり、皆様のイベント開催告知や新商品等のPRなどのご案内が可能です。資料同封のご希望ございましたら、事務局までお気軽にご相談ください。海や山など、アウトドアレジャーのシーズン到来です。急な雷雨・増水・土砂災害などから身を守るための情報収集を忘れずに楽しみましょう。



REICニュース No.10

編集・発行 特定非営利活動法人 リアルタイム地震・防災情報利用協議会

〒111-0054 東京都台東区鳥越2-7-4 エス・アイビル4F

TEL: 03-5829-6368 FAX: 03-3865-1844

URL: <http://www.real-time.jp/> E-Mail: reic_jimukyoku0305@eq7realtime.org

発行日 2018年7月

※本文記事・写真等は許可無く複製、配布することを禁じます。